

CASBEE-広島 2014年版			■使用評価マニュアル：CASBEE-広島 2014年版						
ル・サルク上織縮景園前			■評価ソフト：CASBEE-BD_NC_2014(v.2.0)						
スコアシート			実施設計段階						
配慮項目			環境配慮設計の概要記入欄		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
					評価点	重み係数	評価点	重み係数	
Q 建築物の環境品質									3.4
Q1 室内環境						0.40		-	3.5
1 音環境					4.0	0.15	3.0	1.00	3.1
1.1 騒音					3.0	0.50	3.0	0.50	
1.2 遮音					5.0	0.50	3.1	0.50	
1 開口部遮音性能			開口部遮音性能T-2を確保		5.0	1.00	5.0	0.30	
2 界壁遮音性能			界壁遮音性能Dr-50を確保		-	-	4.0	0.30	
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)					-	-	1.0	0.20	
4 界床遮音性能(重量衝撃源)					-	-	1.0	0.20	
1.3 吸音					-	-	-	-	
2 温熱環境					2.6	0.35	3.0	1.00	2.9
2.1 室温制御					3.0	0.50	3.0	1.00	
1 室温					3.0	0.63	-	-	
2 外皮性能					3.0	0.38	3.0	1.00	
3 ゾーン別制御性					-	-	-	-	
2.2 湿度制御					1.0	0.20	-	-	
2.3 空調方式					3.0	0.30	-	-	
3 光・視環境					2.1	0.25	4.3	1.00	3.9
3.1 昼光利用					1.8	0.30	4.6	0.50	
1 昼光率			自然光で明るくなるように、窓面積を大きく確保		1.0	0.60	5.0	0.50	
2 方位別開口			東西南北4面に開口を設ける		-	-	5.0	0.30	
3 昼光利用設備					3.0	0.40	3.0	0.20	
3.2 グレア対策					3.0	0.30	4.0	0.50	
1 昼光制御			カーテン、庇を組み合わせることで昼光を制御		3.0	1.00	4.0	1.00	
3.3 照度					3.0	0.15	-	-	
3.4 照明制御					1.0	0.25	-	-	
4 空気質環境					4.2	0.25	4.2	1.00	4.2
4.1 発生源対策					5.0	0.60	5.0	0.63	
1 化学汚染物質			室内に使用する建材はF☆☆☆☆を使用		5.0	1.00	5.0	1.00	
2 アスベスト対策					-	-	-	-	
4.2 換気					3.0	0.40	3.0	0.38	
1 換気量					3.0	0.50	3.0	0.33	
2 自然換気性能					-	-	3.0	0.33	
3 取り入れ外気への配慮					3.0	0.50	3.0	0.33	
4.3 運用管理					-	-	-	-	
1 CO ₂ の監視					-	-	-	-	
2 喫煙の制御					-	-	-	-	
Q2 サービス性能					-	0.30	-	-	3.5
1 機能性					3.6	0.40	4.6	1.00	4.4
1.1 機能性・使いやすさ					3.0	0.40	5.0	0.60	
1 広さ・収納性			ブロードバンド対応環境を整備		-	-	-	-	
2 高度情報通信設備対応					-	5.0	1.00		
3 バリアフリー計画					3.0	1.00	-	-	
1.2 心理性・快適性					5.0	0.30	4.0	0.40	
1 広さ感・景観					-	-	3.0	0.50	
2 リフレッシュスペース					-	-	-	-	
3 内装計画			外観および建物内のパースを作成/内装と照明を一体的に計画		5.0	1.00	5.0	0.50	
1.3 維持管理					3.0	0.30	-	-	
1 維持管理に配慮した設計			ゴミ置場には適度な勾配及び清掃用水栓を確保		2.0	0.50	-	-	
2 維持管理用機能の確保					4.0	0.50	-	-	
3 衛生管理業務					-	-	-	-	
2 耐用性・信頼性					3.1	0.30	-	-	3.1
2.1 耐震・免震					3.0	0.50	-	-	
1 耐震性					3.0	0.80	-	-	
2 免震・制振性能					3.0	0.20	-	-	
2.2 部品・部材の耐用年数					3.8	0.30	-	-	
1 躯体材料の耐用年数			住宅性能表示制度 劣化対策等級(構造躯体等)等級3		5.0	0.20	-	-	
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔					3.0	0.20	-	-	
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔					3.0	0.10	-	-	
4 空調換気ダクトの更新必要間隔					3.0	0.10	-	-	
5 空調・給排水配管の更新必要間隔			給水:B以上、汚水:B以上、雑排水:B以上		5.0	0.20	-	-	
6 主要設備機器の更新必要間隔					3.0	0.20	-	-	

2.4 信頼性	1	空調・換気設備		2.6	0.20	-	-	
	2	給排水・衛生設備		1.0	0.20	-	-	
	3	電気設備		3.0	0.20	-	-	
	4	機械・配管支持方法		3.0	0.20	-	-	
	5	通信・情報設備		3.0	0.20	-	-	
	3 対応性・更新性			3.4	0.30	2.6	1.00	2.7
3.1 空間のゆとり			-	-	3.2	0.50		
	1 階高のゆとり	階高を2.985～3.205mに設定	-	-	4.0	0.60		
	2	空間の形状・自由さ	-	-	2.0	0.40		
3.2	荷重のゆとり		-	-	2.0	0.50		
3.3 設備の更新性			3.4	1.00	-	-		
	1	空調配管の更新性	住宅性能表示制度 維持管理対策等級(共用配管)等級2 (専用配管)等級3	4.0	0.20	-	-	
	2	給排水管の更新性	住宅性能表示制度 維持管理対策等級(共用配管)等級2 (専用配管)等級3	4.0	0.20	-	-	
	3	電気配線の更新性		3.0	0.10	-	-	
	4	通信配線の更新性		3.0	0.10	-	-	
	5	設備機器の更新性		3.0	0.20	-	-	
	6	バックアップスペースの確保		3.0	0.20	-	-	
	Q3 室外環境(敷地内)			-	0.30	-	-	3.0
1 生物環境の保全と創出			1.0	0.30	-	-	1.0	
2 まちなみ・景観への配慮		縮景園からの景観に配慮し建物をデザインした	5.0	0.40	-	-	5.0	
3 地域性・アメニティへの配慮			2.5	0.30	-	-	2.5	
	3.1 地域性への配慮、快適性の向上		3.0	0.50	-	-		
	3.2 敷地内温熱環境の向上		2.0	0.50	-	-		
LR 建築物の環境負荷低減性			-	-	-	-	3.0	
LR1 エネルギー			-	0.40	-	-	3.6	
1 建物外皮の熱負荷抑制			3.0	0.20	-	-	3.0	
2 自然エネルギー利用			3.0	0.10	-	-	3.0	
3 設備システムの高効率化		BEI 非住宅 1.00 住宅(専有部) 0.35	4.2	0.50	-	-	4.2	
	集合住宅以外の評価(3a.3b)		1.0	-	-	-		
	集合住宅の評価(3c)		4.2	1.00	-	-		
4 効率的運用			3.0	0.20	-	-	3.0	
	集合住宅以外の評価		-	-	-	-		
	4.1	モニタリング	-	-	-	-		
	4.2	運用管理体制	-	-	-	-		
	集合住宅の評価		3.0	1.00	-	-		
	4.1	モニタリング	3.0	0.50	-	-		
	4.2	運用管理体制	3.0	0.50	-	-		
LR2 資源・マテリアル			-	0.30	-	-	2.7	
1 水資源保護			3.4	0.20	-	-	3.4	
	1.1 節水	節水器具及び節水型便器を採用	4.0	0.40	-	-		
	1.2 雨水利用・雑排水等の利用		3.0	0.60	-	-		
	1	雨水利用システム導入の有無	3.0	1.00	-	-		
	2	雑排水等利用システム導入の有無	-	-	-	-		
2 非再生性資源の使用量削減			2.4	0.60	-	-	2.4	
	2.1	材料使用量の削減	2.0	0.10	-	-		
	2.2	既存建築躯体等の継続使用	3.0	0.20	-	-		
	2.3	躯体材料におけるリサイクル材の使用	3.0	0.20	-	-		
	2.4	躯体材料以外におけるリサイクル材の使用	1.0	0.20	-	-		
	2.5	持続可能な森林から産出された木材	2.0	0.10	-	-		
	2.6	部材の再利用可能性向上への取り組み	3.0	0.20	-	-		
3 汚染物質含有材料の使用回避			3.0	0.20	-	-	3.0	
	3.1 有害物質を含まない材料の使用		3.0	0.30	-	-		
	3.2 フロン・ハロンの回避		3.0	0.70	-	-		
	1	消火剤	4.0	0.50	-	-		
	2	発泡剤(断熱材等)	2.0	0.50	-	-		
	3	冷媒	-	-	-	-		
LR3 敷地外環境			-	0.30	-	-	2.7	
1 地球温暖化への配慮		ライフサイクルCO2排出量の削減	3.5	0.33	-	-	3.5	
2 地域環境への配慮			2.0	0.33	-	-	2.0	
	2.1	大気汚染防止	3.0	0.25	-	-		
	2.2	温熱環境悪化の改善	1.0	0.50	-	-		
	2.3	地域インフラへの負荷抑制	3.3	0.25	-	-		
	1	雨水排水負荷低減	-	-	-	-		
	2	污水处理負荷抑制	3.0	0.33	-	-		
	3	交通負荷抑制	4.0	0.33	-	-		
	4	廃棄物処理負荷抑制	3.0	0.33	-	-		
3 周辺環境への配慮			2.7	0.33	-	-	2.7	
3.1	騒音・振動・悪臭の防止		3.0	0.40	-	-		
	1	騒音	3.0	0.33	-	-		
	2	振動	3.0	0.33	-	-		
	3	悪臭	3.0	0.33	-	-		
3.2	風害、砂塵、日照阻害の抑制		1.6	0.40	-	-		
	1	風害の抑制	1.0	0.70	-	-		
	2	砂塵の抑制	-	-	-	-		
	3	日照阻害の抑制	3.0	0.30	-	-		
3.3	光害の抑制		4.4	0.20	-	-		
	1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	5.0	0.70	-	-		
	2	昼光の建物外壁による反射光(グレア)への対策	3.0	0.30	-	-		